



調査概要

なしこやま

1. 梨子山遺跡 (上野町)

—現代の住宅街で発見された竪穴住居群—

調査期間 6月6日～6月30日 調査理由 宅地造成

調査概要 梨子山遺跡の本格的な調査は、今回が初めてです。縄文時代晩期末（約2,400年前）の竪穴住居跡1棟、縄文時代（詳細時期不明）の落し穴1基、平安時代（9世紀中頃～10世紀初頭）の竪穴住居跡2棟が見つかりました。平安時代の住居跡のうち1棟は、915年に噴火した十和田火山灰が見つかったことから、9世紀末前後のものと考えられます。



平安時代の竪穴住居跡(9世紀末前後)



竪穴住居跡から見つかった平安時代の土器(9世紀後半)



縄文晩期の竪穴住居跡(2,400年前)

2. 葛西壇遺跡 (相去町葛西壇)

—44年ぶりに行われた古代登窯の調査—

調査期間 5月30日～9月15日 調査理由 住宅建設

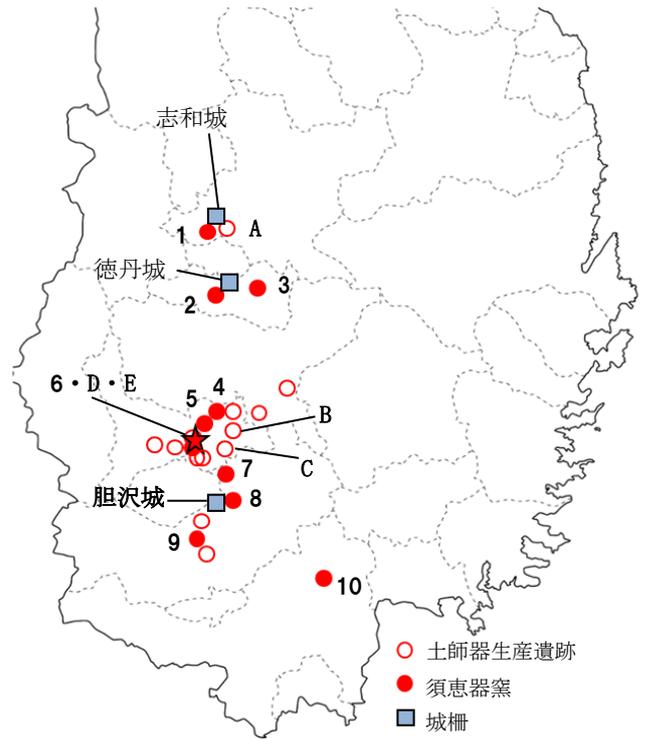
調査概要 平安時代(9世紀後半)の須恵器を焼いた登窯4基などがみつかりました。唯一全体を調査できたSY001窯は全長4.0m、最大幅1.3mを測り、坏、甕、大甕などを焼成していたようです。岩手県内の須恵器窯は10ヶ所が知られており、葛西壇・高前壇Ⅱ・相去遺跡からなる相去窯跡群は、奥州市瀬谷子窯跡群に次ぐ規模の須恵器生産地となっています。また、土師器を生産した遺跡は県内に20カ所ほど知られていますが、そのうち約2/3が北上市に分布しており、平安時代に北上市一帯は県内最大の窯業生産地となっていたことがわかっています。



SY001窯(9世紀後半)



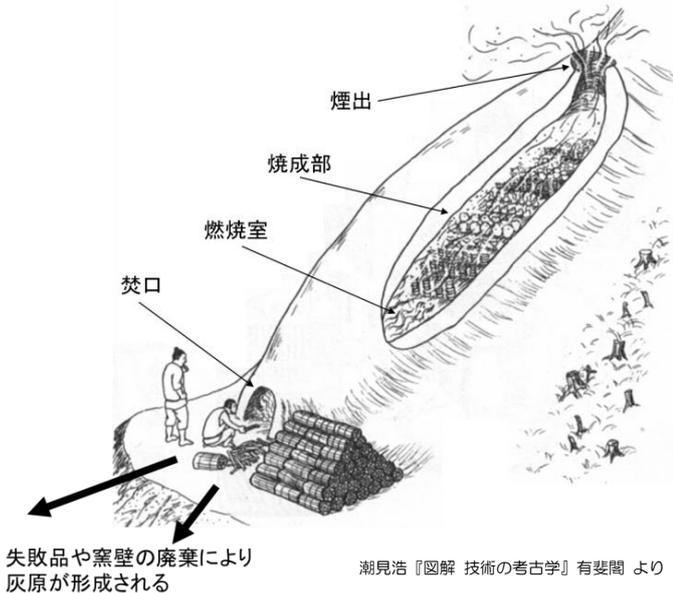
SY001窯遺物出土状況(9世紀後半)



岩手県内の須恵器窯と土師器生産遺跡

須恵器窯： 1.木節窯跡、2.杉の上窯跡、3.星川窯跡、4.成田窯跡、5.藤沢窯跡、6.相去窯跡群 (葛西壇遺跡、相去遺跡、高前壇Ⅱ遺跡)、7.瀬谷子窯跡群、8.外浦洗田窯跡、9.見分森窯跡群、10.大馬場窯跡

土師器生産遺跡 (主なもの)： A.細谷地遺跡、B.千苺遺跡・中村遺跡、C.立花南遺跡、D.相去遺跡・高前壇Ⅱ遺跡、E.南部工業団地内遺跡



潮見浩『図解 技術の考古学』有斐閣 より